


健康登山34:自然歩道17 (長谷寺駅～初瀬ダム～鳥見山～榛原駅)

コース	長谷寺駅→1.3km/27' →天満宮→0.8km/46' →天神山→1.1km/30' →初瀬ダム →2.7km/70' →高東城跡→2.0km/45' →鳥見山公園→1.0km/30' →鳥見山→0.6km/13' → 鳥見山展望台→0.8km/24' →小鹿野→2.3km/38' →榛原駅		
水平距離	12.6km	断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km	
水平換算距離	16.1km		
累計高低差	登り977m、下り850m		
標準歩行時間	5:22		
実績歩行時間	5:42		



山行報告

山行日 2008・03・06 (木) 天候 晴れ 参加者 10名

行動 長谷寺駅9:58→法起院10:14→天満宮10:25→天神山11:21→初瀬ダム11:53～12:33→高麗神社(口倉神社) 12:57→高東城跡13:30→鳥見山公園14:24→鳥見山15:06→鳥見山展望台15:31→小鹿野16:04→榛原駅16:40

記録

今回は東海自然歩道を長谷寺駅から榛原駅まで歩いた。自然歩道を忠実にトレースするだけでは少し物足りないコースなので、三角点のある天神山△455.3mと鳥見山△734.6mを周辺の山として付け加えた。

京都駅8:01発の橿原神宮行急行に乗ると長谷寺駅には9:39に着く。準備体操などをして10時から歩き始めた。最初に長谷寺の門前町にある法起院にお参りをし、長谷寺方面に向かう自然歩道(県道38号線)と一旦分れて天満宮へ向かう石段を登った。

天満宮の西側から天神山に続く尾根に取り付くのだが稜線までの高度差150mほどの登りがかなりきつい。天神山には三等三角点と標識がいくつかぶら下がっていた。ここから北西に進み初瀬ダムの周辺道路に下り、自然歩道に合流した。初瀬ダムは反時計まわりに歩き管理事務所前で昼食をした。初瀬ダムからは天神山とこれから登る鳥見山がきれいに見えた。

午後は自然歩道の標識どおりに歩き、口ノ倉集落にある高麗神社を訪れ、次に高東城跡へ向かった。口ノ倉集落からは初瀬ダムが眼下に見え、高東城跡では樹間から金剛山や先月歩いた大和三山が確認できた。

静かな植林地帯を通り抜けるとツツジと紅葉で有名な鳥見山公園に入る。小高い展望所から金剛山系から国見山辺りまでが見られた。ここから鳥見山を往復した。鳥見山には四等三角点があるが樹木に遮られて景色は見られない。下山後、鳥見山公園の高所にある展望台からそこに設置されている鳥瞰図を見ながら山座同定をして暫く時を過ごした。

ここで自然歩道と分れて榛原市街へ向かって下山した。途中、小鹿野からは西日を受けた額井岳が輝いて見えた。最短コースを選んで歩き榛原駅には16:40に着いた。

自然歩道 (長谷寺駅～初瀬ダム～鳥見山～榛原駅)



①法起院
10:13



②天満宮
10:25



③天神山の登り
10:43



④天神山三角点
11:22



⑤初瀬ダムから
鳥見山
11:56



⑥高竈神社
12:57



⑦鳥見山にて
15:07



⑧鳥見山から
公園へ下る
15:23



⑨展望台から
景色を見る
15:32



⑩小鹿野から
見た額井岳
16:04

名所・旧跡ミニガイド（自然歩道：長谷寺～初瀬ダム～鳥見山公園）

参考資料、HP、その他より

◎ ^{はせやまぐちにいます}長谷山口坐神社：長谷山の鎮め神として大山祇神を祭神とする。
狛犬に紐を巻きつけておくと家出した人が、無事に帰って来るという伝説がある。

◎ ^{ほっきいん}法起院：長谷寺の塔頭で開山堂です。
天平年間、道明上人と共に長谷寺を開基した徳道上人が、亡くなって彼の世に行ったところ、閻魔大王から西国三十三カ所霊場巡拝の功德を広めるようにと、観音有縁の地三十三ヶ所を示され、この世に戻された。三十三ヶ所霊場巡りはこの徳道上人が始めたものとされます。

法起院は三十三カ所霊場巡りの番外寺院で、霊場巡りを終えた人々が、最後に参拝する寺院となっています。

十三重塔は徳道上人の墓と言われ、塔の周りに三十三カ所の寺院名が記された石がはめ込まれ、1周10mほどの三十三カ所巡りが出来るようになっています。

◎ 天満神社お旅所：菅原道真が休まれたと伝えられる地で、腰掛石が残っています。
境内の2本の紅梅は樹齢300年以上の八重咲淡紅色中輪で桜井市指定天然記念物です。

◎ 与喜山天満神社：祭神：菅原道真
菅原道真がこの地に来た時、初瀬の地主神であった^{たきのくら}滝蔵権現が『天神にまかせる、私は滝蔵にこもる』と自ら現在の滝倉地区に遷座して社地を譲り、與喜山の中腹に道真を天神として祀る與喜天満神社が鎮座した。現在の社殿は文化15年(1818)に再建されたものです。

本殿横に滝蔵権現を祀る摂社「滝倉神社」（祭神：伊弉册命、伊弉諾命、速玉命）があります。参道の石段は85段プラス190段あります。

◎ 与喜山暖帯林：天然記念物に指定されています。
特に山の東斜面は樹木の伐採は一切禁じられている聖域で、原始林の様相を留め、与喜山暖帯林として保存されています。植物学研究所の宝庫だそうです。

昭和26年、与喜山の元帝室御料林が長谷寺に無償で還付されました。
長谷寺の僧が、毎朝、東にある山「与喜山」を拝む風習があります。

与喜山礼(よきさんらい)と云うそうです。

- ◎ 天神山 : (与喜山) 455.3m 天照大神が降臨したと伝える古代の信仰の山で、「大泊瀬山」「隠口長谷山」とも呼ばれていたそうです。
元伊勢の伝承地の石碑が長谷山口神社の近くに有ります。今の伊勢に落ち着くまで二十数箇所も鎮座地を変えた内の一つとされます。山中には磐座が多数あるそうです。
天満神社が鎮座してから、与喜山頂上は天神山と呼ばれるようになったそうです。

- ◎ 化粧坂(けはい坂)：古代の倭姫命や伊勢に向かう女人達が長谷寺から坂を登り一汗かき化粧を直した坂(峠)とか。伊勢の辻を右に突き当たり丁字路が「けはい坂」です。
坂を左に下がると与喜山中腹にある与喜天満神社です。

♪鎌倉七口の一つに有名な化粧坂(けわいざか)が有ります。語源は種々あり平家の大将の首を化粧して首実検した、遊女がいた、険しい坂、木が多い坂(木生え坂)等々ですが、「化粧(けわい)」とは、身だしなみを整えると意味だそうです。

- ◎ 初瀬ダム : 昭和 36 年竣工、堤高 55m、重力式コンクリートダム
大和川(初瀬川)の最上流部につくられた。大和川水系ダムに天理ダム、白川ダムの 3 つが有ります。ダム湖の「ロノ橋」の奥に見えるのは鳥見山です。

ダム湖は『まほろば湖』といい、桜井市の小学校から名称募集されたものです。

「日本武尊」が能褒野(三重県亀山市)で亡くなる時望郷の思いを残した歌『倭は国のまほろば…倭しうるはし』から引用されている。

「まほろば」とは大和の国の枕詞になっています。「最も素晴らしいところ」という意味だそうです。

♪[真秀ろ=接尾語 ば=助詞/まほろば]

因みに磐余/大軍の兵が満ちるという意味だそうです。(満む)(村)石村=磐余

- ◎ 口倉神社 : 祭神 : 高淤加美神(日本書紀)/高竈神(古事記)雨冠に口 3 つ並べ下に龍を書く。古語で龍を意味するそうです。貴船神社と同神で雨乞いの神。

- ◎ ロノ倉集落：斜面に造られた集落。シイタケの栽培風景が多く見られ、ロノ倉コミュニティー会館(トイレあり)から後ろを振り返れば初瀬ダムの全景が見下ろせます。
- ◎ 高束城跡：高塚城、鷹塚城とも云われた。今は岩(礎石/馬乗石)が残るのみ。
長谷寺別当兼補佐職の藤原家賢の住居として 898 年に築城、永禄 7 年(1564) 松永久秀によって落城、城主藤原順賢は討ち死にした。
城跡から畝傍山と金剛、葛城山系が望めます。
- ◎ 鳥見山公園：宇陀市榛原町「鳥見山」の山頂近くにあり、勾玉池を中心とする高原上の自然公園。ツツジの名所として知られるが、桜、紅葉も格別といわれています。
展望台から大和平野や宇陀の山容、台高山系、大峰山系、葛城山系などが一望出来ます。
園内には、神武天皇が「^{れいじ}靈時」(まつりのにわ)を建て祖先を祭ったとされる神武天皇聖跡伝承地の顕彰碑が有ります。
- ◎ 鳥見山：734.5m(4等三角点) 榛原の町から眺めると、大きな鳥が双方の羽を大きく広げたように見えるところからその名がついたといえます。
桜井市にも鳥見山(245m)があり「神武天皇靈時」の碑が有ります。
- ◎ 榛原町：大和の東玄関口で伊勢に通じる伊勢街道として賑わった。特に伊勢本街道と、北(表)街道の分岐点「萩原、札の辻」は街道の要所で、道標、常夜燈、元旅籠などがのこっています。この旅籠「あぶらや」に本居宣長公宿泊(吉野の旅)の木札がかかっています。
- ◎ 伊勢街道：三街道がありました。初瀬から榛原に出て、札の辻で本街道か表街道を選択。
本街道(榛原～飯坂越え)：伊勢に東進する最短距離の街道だが難所の峠を幾つも越えなければならなかった。
表街道(北街道)あを越え：奈良、笠間峠、名張(北街道合流)、阿保、青山峠、参宮街道にでる難所が少ない街道。
現在は電車路線や国道に開発されています。
南街道(東吉野～高見越え)：高見山の中腹に街道が付けられている、紀州街道とも云い紀州徳川家や国学者の本居宣長も歩いています。